

e-recognition シリーズのご紹介

OCRとRPAで業務改革を実現する e-recognitionシリーズ

(通称:イーレコシリーズ)

KSI 株式会社 K S インターナショナル



1. 株式会社KSインターナショナルの会社概要と沿革
2. e-recognition シリーズのご紹介
 1. e-recognition シリーズ(イーレコシリーズ)とは？
 2. 紙伝票処理の課題でこんな悩みありませんか？
 3. AI-OCRとは？ どのように活用？
 4. AI-OCRの課題と活用のポイント
 5. OCRソフトの強みと弱み
 6. RPAで伝票処理の自動化を実現
 7. e-recognition シリーズの特徴
 8. DARTの機能
 9. e-recognition シリーズのメリット
 10. e-recognition シリーズの処理イメージ
 11. 製品仕様と前提条件
3. Cloud e-recognition for BPOのご紹介
 1. Cloud e-recognition for BPO
 2. こんなユーザー様にオススメ！
 3. OCRを活用して業務効率化の向上を進めたい！
 4. Cloud e-recognition for BPO 特徴
 5. Cloud e-recognition for BPO 運用フロー
 6. Cloud e-recognition for BPO タイムスケジュール
 7. Cloud e-recognition for BPO 主な仕様
 8. ご視聴有難うございました

会社概要

- ◆会社名 株式会社KSインターナショナル
- ◆代表取締役社長 白熊 宏一
- ◆本社所在地 東京都江東区
- ◆会社設立 2008年5月2日
- ◆事業内容 サービス業 及び 情報システム販売

沿革

- 2007 「富津ふれあいサイクルフェスティバル2007」、「房総ツーリング」、小湊鉄道とのサイクルトレインなどイベント事業開始。
- 2008 株式会社KSインターナショナル、法人設立。
- 2008 セミオーダ型特殊業務用OCRシステム販売開始。
- 2010 東京営業所開設。
- 2013～ コダック社(現Kodak Alaris社)スキャナー関連製品取扱い開始。
- 2018～ WinActor / Prexifort-OCR / DX Suite取扱い開始。
- 2020～ **e-recognition シリーズ販売開始**

1. 株式会社KSインターナショナルの会社概要と沿革
2. **e-recognition シリーズのご紹介**
 1. e-recognition シリーズ(イーレコシリーズ)とは？
 2. 紙伝票処理の課題でこんな悩みありませんか？
 3. AI-OCRとは？ どのように活用？
 4. AI-OCRの課題と活用のポイント
 5. OCRソフトの強みと弱み
 6. RPAで伝票処理の自動化を実現
 7. e-recognition シリーズの特徴
 8. DARTの機能
 9. e-recognition シリーズのメリット
 10. e-recognition シリーズの処理イメージ
 11. 製品仕様と前提条件
3. Cloud e-recognition for BPOのご紹介
 1. Cloud e-recognition for BPO
 2. こんなユーザー様にオススメ！
 3. OCRを活用して業務効率化の向上を進めたい！
 4. Cloud e-recognition for BPO 特徴
 5. Cloud e-recognition for BPO 運用フロー-recognition for BPO タイムスケジュール
 6. Cloud e-recognition for BPO タイムスケジュール
 7. Cloud e-recognition for BPO 主な仕様
 8. ご視聴有難うございました

『e-recognition シリーズ(イーレコシリーズ)』とは？

『e-recognition シリーズ(イーレコシリーズ)』とは？



4つのソフトウェアが連携しOCR単体では難しかった「文字認識の正確さ」、「速さ」、「時短によるコスト削減」を実現し、「伝票処理の自動化をバックアップ」するパッケージです。

更に、『イーレコシリーズ』の機能を活用して、請求書・注文書のデータ化を専門スタッフが代行するBPOサービス、『Cloud e-recognition for BPO』の受託を開始しました。

■ラインナップ

- e-recognition for 請求書
- e-recognition for 注文書
- e-recognition for 領収書
- **Cloud e-recognition for BPO**



e-recognition シリーズが解決

そんな「伝票処理の課題」を解決するのに有効なのが「従来型のOCR」「AI-OCR」「RPA」を活用した『e-recognition シリーズ』なのです。

入力の手間

紙の伝票をひたすら手入力する。
書式も記載内容も異なり、思った以上に時間がかかる。

業務の集中

締日に集中し、残業で対応。他の業務に取り掛かれず、対応が遅れる。

e-recognition シリーズ

単純作業による疲弊

社内フォーマットに入力されたデータを基幹システムにコピー＆ペースト。長時間の単純作業に効率も落ちる。

ミス対応

担当者のスキルに左右されるため、二重・三重のチェックなどミス対応の負荷も大きい。

OCRとは、「Optical Character Recognition/Reader(光学的文字認識)」の略称です。

紙に手書きや印刷された文字を、スキャナやデジタルカメラなどで読み取り、コンピュータの文字コードにデジタル変換する技術です。

これに、AI(人工知能)による学習機能を備えたものが、「AI-OCR」です。

AI-OCRは、従来型のOCRでは正しく認識できなかった「ゆがんだ文字の読み取り」に対応。紙からデータ化する手間を大幅に削減します。

■AI-OCRのメリット

	メリット	効果
1	手入力の時間と担当者の負荷を削減	時短・残業コスト削減・ストレス軽減
2	大量の伝票も機械に任せて、他の業務に取り掛かれる	業務遅延解消・効率化
3	紙伝票のデジタル化で保管スペースが減る	省スペース・コスト削減
4	デジタル化で検索が可能になり、紙伝票を探す手間が減る	時短・ストレス軽減

このように、多くのメリットを持つAI-OCRですが・・・そんなAI-OCRも万能ではありません！

■AI-OCRの課題

	課題	内容
1	文字認識の精度	使用するソフトウェアの性能により「文字認識の正読率」が異なるため、その後の「データ修正の手間と時間」が大幅に変わってくる。
2	データの活用	処理は「文字データをデジタル変換する」ところまで。その後の基幹システムへのデータの登録や加工はできない。

つまり、AI-OCRでデジタル化したデータを最大限活用するには、重要なポイントがあるのです。

■AI-OCR活用の重要ポイント

AI-OCRを活かし、「伝票処理の自動化」「オフィスの働き方改革」を実現するには、

	AI-OCR活用の重要ポイント
1	最適な「OCRソフトウェア」の選択
2	データ活用を可能にする「RPA」との連携
3	データ処理のパフォーマンスを向上させる「ユーザーごとのカスタマイズに対応するツール」

が必要不可欠なのです。

ソフトウェア型帳票 OCR「Prexifort-OCR」と、独自開発の”文字認識AI”を搭載したAI-OCR サービス「DX Suite」の強みと弱みを認識し、良いとこどり。

	強み	弱み
 <p>帳票OCRソフト Prexifort-OCR Precise · Flexible · Comfortable</p>	<ul style="list-style-type: none">• 速さ• 低コスト• 印刷文字の認識精度が高い• フォーム判断の性能が高い	<ul style="list-style-type: none">• 手書きのクセ文字などのゆがみ文字に非対応
 <p>DX Suite Leading the Digital.</p>	<ul style="list-style-type: none">• 文字認識精度が高い• 手書きのクセ文字などのゆがみ文字に対応	<ul style="list-style-type: none">• 従量課金制のため処理量に応じてコスト UP• クラウド型のためアップロード時間が必要

RPAとは、「Robotic Process Automation」の略称で、伝票処理の業務効率化・自動化を実現する、もうひとつの頼れるソフトウェアです。

■RPAで自動化できること

1. デジタル化した文字データから「必要な情報のみを抽出」
2. マスターなどに照らし合わせて「内容のチェック」
3. 基幹システムへの「登録」

このように、AI-OCR処理後の作業をRPAで自動化することで「登録作業の負荷と人的ミスを削減」「担当者のスキルによらぬ手順の共通化」により、リスク削減、ストレス削減、コスト削減

つまり、伝票処理の自動化には、「高性能なOCR処理」と「RPA」、そして、「スムーズな連携を可能にするツール」

『DART(ダート)』が必要不可欠なのです。



e-recognition シリーズは、当社オリジナルアプリケーション『DART(ダート)』が、3つの業界国内シェアNo.1ソフトウェアのスムーズな連携を実現！

1. 「業界国内シェアNo.1」

信頼と実績のある3つのソフトウェアが連携。



2. 2つのOCRシステム

速さと低コストの「ソフト型OCR」と手書きやクセ字などのゆがみ文字も認識する「AI-OCR」。
2つのソフトウェアそれぞれの優位性を活用。

3. RPA がデータ処理を自動化。

時短・作業負荷の軽減、作業手順の標準化、単純ミス削減。

当社オリジナルアプリケーション『DART(ダート)』は、

- 3つの業界国内シェアNo.1ソフトウェアのスムーズな連携を実現！
- ユーザーのカスタマイズに対応し、パフォーマンスを向上！！



『DART』は、「Prexifort-OCR」「DX Suite」の得意分野を組み合わせ実行させ、認識精度、コストパフォーマンスの両面の向上をはかる機能の集合体。ユーザーごとのカスタマイズにも対応します。

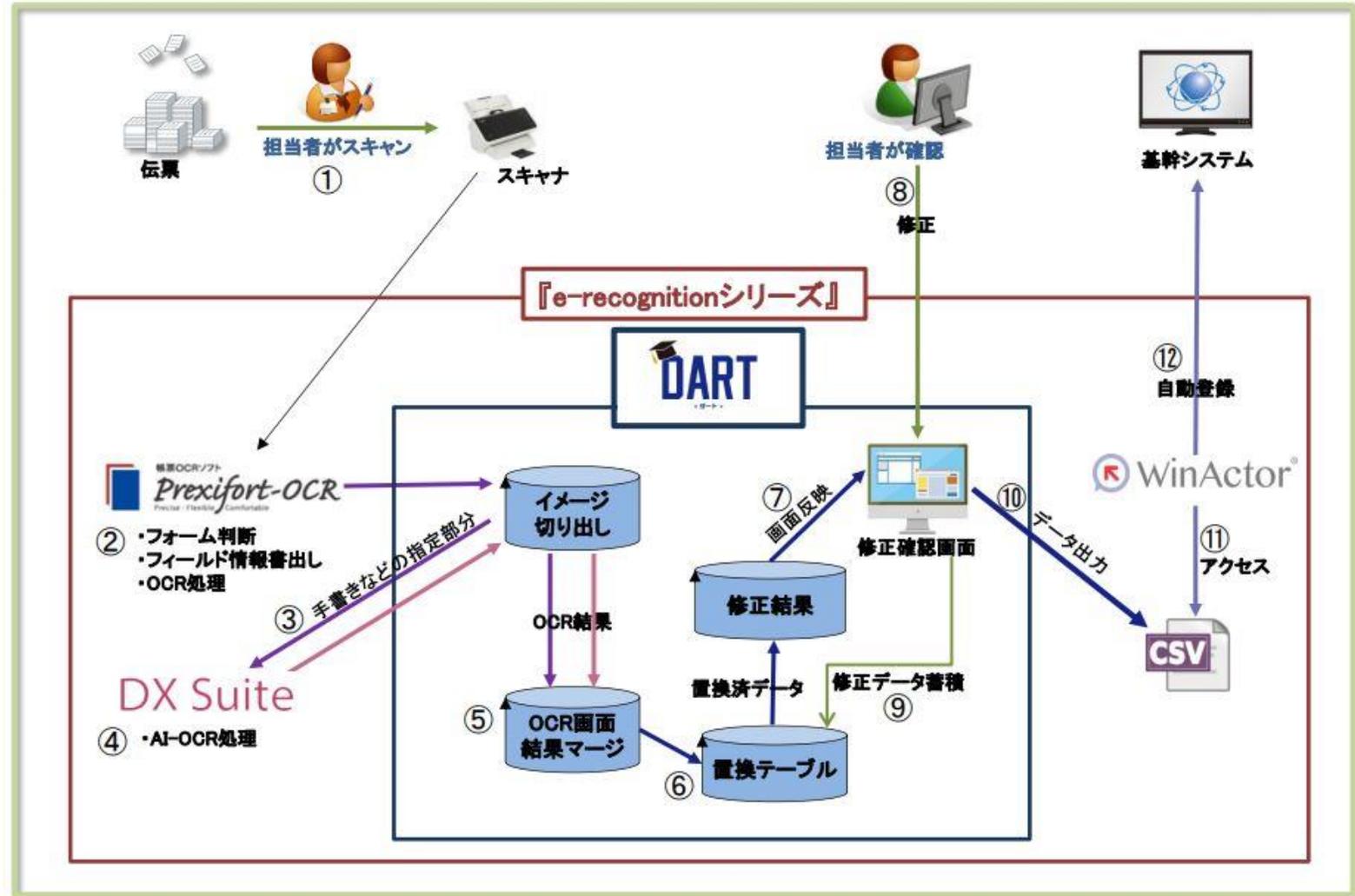
	機能	内容
1	イメージカット機能	PDFから該当文字イメージを切り出し、アップロードする。
2	マージ機能	2つのOCR結果を最適に統合する。
3	結果置換機能	置換データにより、誤認識したデータを自動置換する。
4	認識結果訂正機能	データの最終確認に必要な独自の修正確認画面を完備。
5	置き換えデータの登録／修正機能	認識結果の訂正データを蓄積・学習させることで、置き換え機能の精度を向上させる。
6	ユーザーの実務に適応するカスタマイズ機能	『DART』が持つ各機能を、ユーザーの実務に合わせカスタマイズできる。

『DART』により、認識率、操作性、コスト削減等の大きなメリットが期待できます。

	メリット	内容
1	認識率の向上	<ul style="list-style-type: none">① 「Prexifort-OCR」で認識できない部分を、「DX Suite」でOCR処理、結果をマージすることで「文字認識精度が向上」する。② 『DART』の学習機能で過去に誤認識したデータを置き換える。
2	操作性アップ	<ul style="list-style-type: none">① 『DART』がイメージ切り出しから認識結果のマージまでバックグラウンドで行うため、知識のない方でも簡単に操作できる。② 『DART』の確認修正画面で、認識データの修正が簡単にできる。
3	コスト削減と時短	<ul style="list-style-type: none">① 『DART』が「DX Suite」(従量課金・クラウド処理)の使用量を最適化することで「コスト削減」と「アップロード時間の短縮」になる。

1. 伝票をスキャン
2. 「Prexifort-OCR」が従来型の強みを活かし、「早く」「低コスト」でOCR処理
→フォーム判断、フィールド位置情報書き出し、文字読取
3. 『DART』が手書きなどの指定部分だけを切り出し、「DX Suite」にアップロード
4. 「DX Suite」がAIを活用し、OCR処理
→指定部分を読取、文字データ化
5. 『DART』が「Prexifort-OCR」処理データと「DX Suite」処理データをマージ
6. 『DART』が指定データを置換
7. 『DART』が結果データを独自の 修正確認画面に反映
8. 修正確認画面で、データ確認・修正が可能 ※担当者手作業
9. 『DART』の置換データに修正データを蓄積
10. 『DART』が修正済みデータをCSVファイルに出力
11. 「WinActor」がCSVファイルにアクセス
12. 「WinActor」が該当データの基幹システムへの登録、確認依頼メール配信など業務プロセスに自動対応

【モデルケース フローイメージ図】



■製品仕様

1. 日次 : 50件
2. 月間 : 1,000件以内
3. フォーム数 : 20フォーム（※フォーム＝紙伝票の形式・型）
4. フィールド数 : 1フォームにつき、20フィールド（※フィールド数＝イメージ切り出し設定数）

■前提条件

1. 販売プランの e-recognitionパッケージは、Prexifort-OCR＋DARTの製品付き。DX Suite、WinActor、FAX-OCRソフトは別途準備をお願いいたします。
また、製品により保守サービス料金が発生します。
2. スキャナーについては、DXマーケットプレイス内 Kodak Alaris社製スキャナーを推奨しています。
3. 商品の提供は、サンプルシナリオのご提供と Webサポートと致しますが、現地訪問が生じた場合、移動費用等、別途ご相談の上、ご請求申し上げます。

* Prexifort-OCRはNTTデータ社、WinActorはNTTアドバンステクノロジー社、DX SuiteはAI-inside社の登録商標です。

* DARTは自社開発製品です。

1. 株式会社KSインターナショナルの会社概要と沿革
2. **e-recognition シリーズのご紹介**
 1. e-recognition シリーズ(イーレコシリーズ)とは？
 2. 紙伝票処理の課題でこんな悩みありませんか？
 3. AI-OCRとは？ どのように活用？
 4. AI-OCRの課題と活用のポイント
 5. OCRソフトの強みと弱み
 6. RPAで伝票処理の自動化を実現
 7. e-recognition シリーズの特徴
 8. DARTの機能
 9. e-recognition シリーズのメリット
 10. e-recognition シリーズの処理イメージ
 11. 製品仕様と前提条件
3. **Cloud e-recognition for BPOのご紹介**
 1. Cloud e-recognition for BPO
 2. こんなユーザー様にオススメ！
 3. OCRを活用して業務効率化の向上を進めたい！
 4. Cloud e-recognition for BPO 特徴
 5. Cloud e-recognition for BPO 運用フロー
 6. Cloud e-recognition for BPO タイムスケジュール
 7. Cloud e-recognition for BPO 主な仕様
 8. ご視聴有難うございました

請求書、注文書の入力処理業務を

Cloud e-recognition for BPOに楽々お任せ！

紙の請求書、注文書を文字データ化するクラウド型帳票認識OCRソリューション

「Cloud e-recognition for BPO」は、お客様の請求書、注文書の入力処理業務を大きく改善し、人手不足の解消、コストの削減を実現します。

クラウドサービスなので、初期導入費もかからず、お手軽にご利用いただけます。

イーレコBPOなら、面倒な仕分けや入力作業無しで楽々お任せ！



こんな悩みをCloud e-recognition for BPO が解決。

お客様は原票を送り、納品データを確認するだけ！



BPOとは、「**B**usiness **P**rocess **O**utourcing」の略称で、企業活動で必要となる業務を、専門機関に外部委託することです。

『**Cloud e-recognition for BPO(イーレコBPO)**』は、『**e-recognition シリーズ(イーレコシリーズ)**』の機能を活用して、請求書・注文書のデータ化を専門スタッフが代行するサービスプランです。

■こんなユーザー様にオススメ！

OCRを活用して業務改善を進めたいが・・・

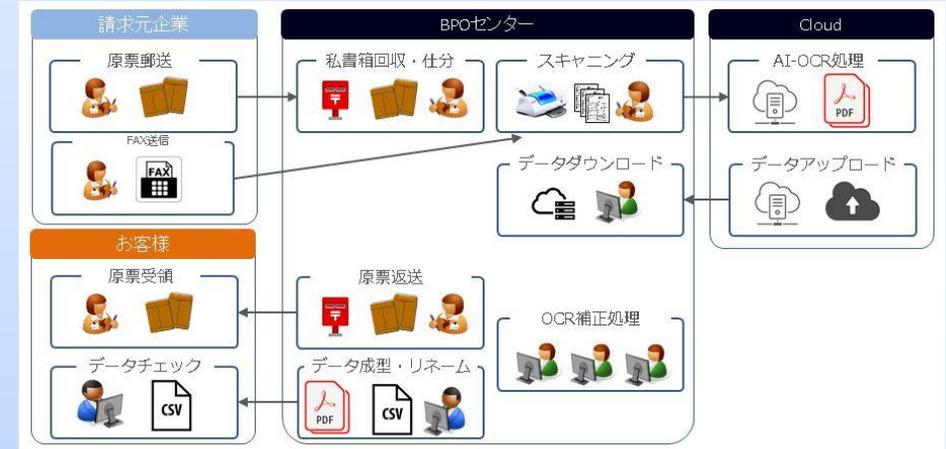
- ✓ **システム導入の初期費用が負担**
- ✓ **ツールの初期設定や定義に対応する余力が無い、対応できるか不安**
- ✓ **導入検討に当たり、まずはOCRの効果を確認したい**
- ✓ **導入作業がめんどろ**
- ✓ **導入しても、運用に対応する人材がいない**
- ✓ **認識結果のチェックもすべて誰かにやって欲しい**

「Cloud e-recognition for BPO」には、二つの運用サービスプランをご用意しました。

1. 郵送・FAX直送 プラン

郵送物やFAXを直受け、面倒な仕分けや入力作業無しで楽々お任せ！

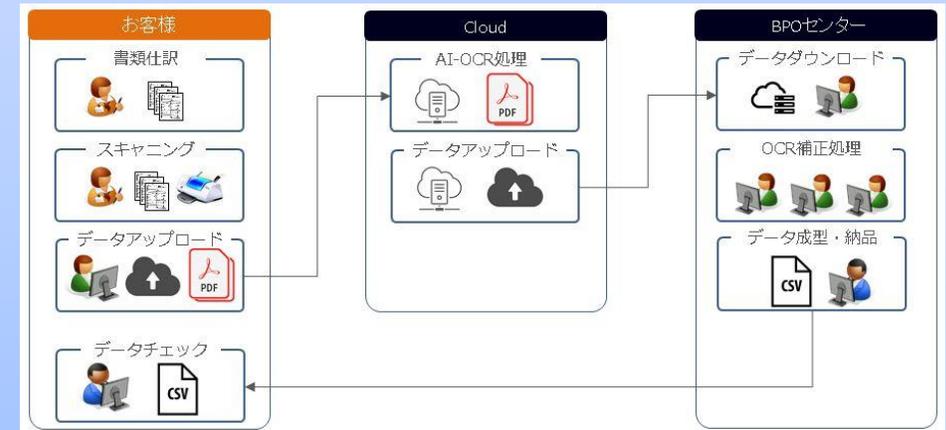
NTTデータ DXマーケットプレイス限定のサービスとなります。



2. スキャンデータアップロード プラン

スキャンした画像データをアップロードして入力作業なしで楽々お任せ！

KSインターナショナル限定のサービスとなります。



3つのNo.1ソフトウェアを導入

DX Suitr (AI-OCR NO.1)
Prexifort-OCR (ソフトウェア型OCR No.1)
WinActor (RPA No.1)

※ Prexifort-OCRはNTTデータ社、WinActorはNTTアドバンステクノロジー社、DX SuitrはAI-inside社の登録商標です。

クラウドサービスなので、
初期導入費は掛かりません。

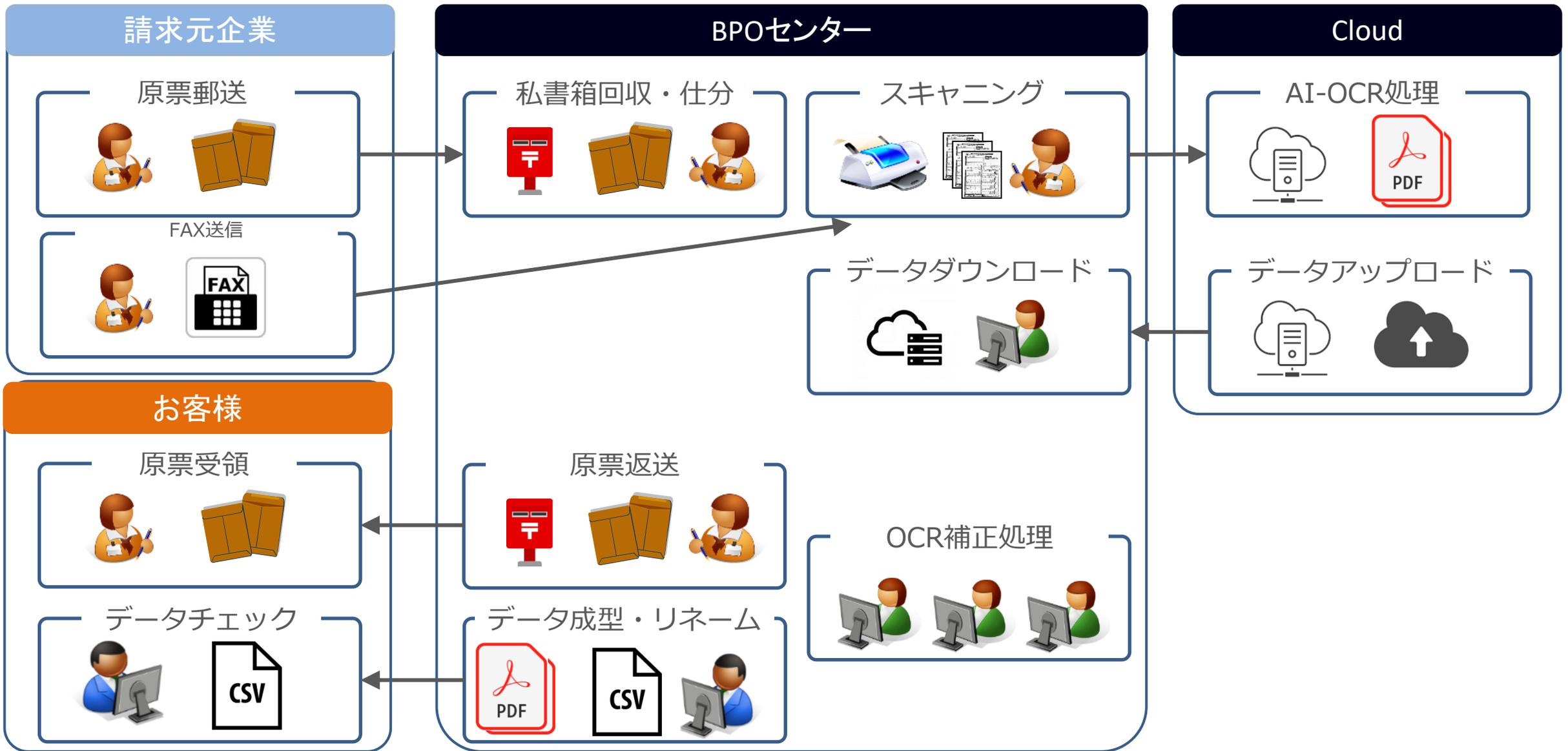
Cloud e-recognition for BPO

DARTは、認識精度とコストパフォーマンスの向上を
図る機能の集合体。

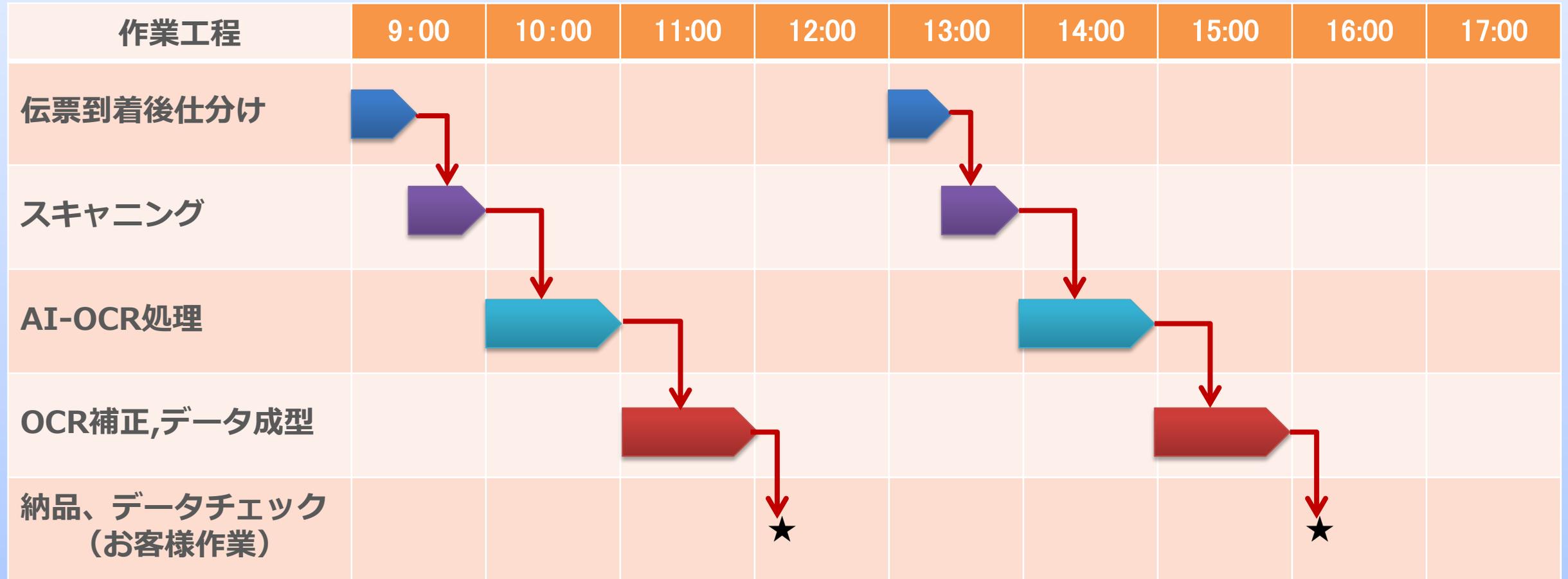
イメージカット機能、マージ機能、結果置換機能など

※ DARTは、KSインターナショナル社製品です。

AIによる処理に加え、
人の目で確認/修正を実施します。
OCR業務に精通したスタッフがサポートします。



BPOサービスは、午前と午後の2回処理をご用意しております。



Cloud e-recognition for BPO 主な仕様

帳票入力	対象帳票	請求書、注文書
	原稿サイズ	A4サイズまで
	ファイル入力	Tiff
	画像タイプ	フルカラー、白黒、グレースケール
	画像解像度	300dpi(推奨)
	画像補正	天地補正、傾き(スキュー)補正
帳票認識	活字	漢字、ひらがな、英大文字、英小文字、数字、全角カタカナ、半角カタカナ、記号
データ出力	出力ファイル形式	.CSV

ご視聴有難うございました

詳細説明等をご希望の際は、下記連絡先までご連絡下さい



株式会社K Sインターナショナル

営業部

白熊(シラクマ)・矢崎

TEL : 03-6666-4106

E-mail : k-sirakuma@ksin.jp

E-mail : yazaki.yuta@ksin.jp